

「わたしはまことのぶどうの木」

ヨハネによる福音書 15章5～6節

聖学院小学校 教諭 村上 富美子

みなさんはどんな野菜が好きですか。

私たちは、たくさんの野菜を食べることが出来ます。トマト、きゅうり、なす、キャベツ、レタス、じゃがいも、にんじん、大根、ごぼう、いろいろな野菜を思い浮かべることが出来ますね。野菜の好きな人も、苦手な人も野菜を食べて元気に生きることが出来ます。この野菜たちは、私たちが神様から自然の恵みをいただいているとも言えますね。

さて、このおいしい野菜になるためには、どんなふう成長していったのでしょうか。みんなで考えてみたいと思います。まず、土から栄養をもらって成長しています。そして、太陽の光をたくさん浴びて大きく成長していきます。こうして野菜は少しずつ成長していくことができます。また、野菜が元気に成長出来るためには、野菜の力だけでなく、支える農家の人たちの協力も大切ですね。

今朝は聖書に出てくる、「まことのぶどうの木」のことを、神様とわたし達のつながりについて少し考えてみましょう。

イエスさまは、「まことのぶどうの木」と言われることがあります。わたし達はぶどうの木につながる小枝とも言われます。神様からあふれる命をいただいて、わたし達は大きく育てられています。

わたし達も初めは小さなぶどうでした。ぶどうの木の幹は、わたし達ぶどうを大きなぶどうの実に育ててくれます。神様はわたし達ぶどうの一つ一つを丁寧に手入れしてくれます。

しかし、わたし達ぶどうの実が油断をしていると、神様が見ていて実らなかったぶどうを切り捨てるかもしれません。そうならないように、わたし達は、どんな時でもしっかり神様につながって、立派なぶどうになれるように考えていきましょう。

2015年9月8日 聖学院小学校 中学年礼拝